

## 5 . 家計や仕事のこと

---

ここからは、「家計や仕事のこと」をテーマとした質問項目について記載しています。

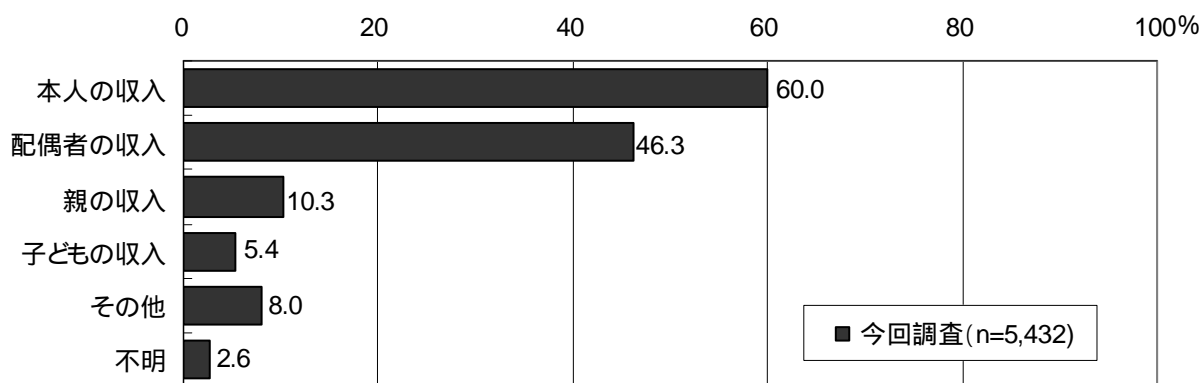
問	項目	質問文の概要
5-1	家計を主に支えている収入	・あなたの世帯の家計は、主にどなたの収入に支えられていますか。
5-2	特に負担を感じている支出	・日常生活の支出の中で、特に負担を感じている支出はありますか。 ・特に負担を感じている支出についてあてはまるものすべてに をつけてください。
5-3	何歳まで働きたいか（就労意欲）	・何歳くらいまで働きたい（収入のある仕事をしたい）とお考えですか。 ・働きたいと考える理由は何ですか。
5-4	職業	・あなたの主な職業は何ですか。
5-5	1週間の平均的な就業時間	・あなたの1週間の平均的な就業時間（残業時間を含みます）はどのくらいですか。
6	パート・アルバイト・派遣社員の方が希望する働き方	・あなたは、今後、どのように働きたいと考えていますか。 ・正社員（正規職員）として働きたいと考える理由は何ですか。
7-1	就労していない理由	・働いていない（収入のある仕事をしていない）理由は何ですか。
7-2	専業主婦・主夫や無職の方の就労意欲	・働きたい（収入のある仕事をしたい）と思っていますか。 ・どのように働きたいと考えていますか。

**問5 - 1** あなたの世帯の家計は、主にどなたの収入に支えられていますか。 あてはまるものすべてに をつけて下さい。( はいくつでも)

**【家計を主に支えている収入】**

世帯の家計を主に支えている収入について質問したところ、「本人の収入」が60.0%と最も高く、次いで「配偶者の収入」(46.3%)、「親の収入」(10.3%)となっています。

図表 2-5-1 家計を主に支えている収入〔複数回答〕



図表2-5-2 家計を主に支えている収入

(%)

		合計	本人の収入	配偶者の収入	子どもの収入	親の収入	その他	不明
全体		5,432	60.0	46.3	5.4	10.3	8.0	2.6
地域	北勢地域	2,394	60.4	45.9	4.9	10.0	7.6	1.8
	伊賀地域	557	54.6	50.4	7.2	11.0	8.4	3.2
	中南勢地域	1,516	60.1	45.8	5.5	10.8	7.7	3.4
	伊勢志摩地域	751	61.3	46.1	6.3	9.9	9.5	3.2
	東紀州地域	214	64.0	44.9	1.4	8.9	9.8	2.8
性別	男性	2,441	83.2	23.7	4.0	11.1	7.2	1.8
	女性	2,869	40.7	66.1	6.3	9.8	8.5	2.7
年代	20歳代	321	31.5	14.3	0.6	68.8	5.3	0.3
	30歳代	666	53.6	53.3	0.6	20.7	3.0	0.3
	40歳代	864	60.2	54.3	0.9	10.6	5.1	0.6
	50歳代	937	65.1	54.4	3.0	6.7	4.9	1.1
	60歳代	1,291	67.1	49.1	6.0	2.2	9.1	1.7
	70歳以上	1,254	59.9	36.9	13.0	0.9	14.5	7.2
主な職業	農林水産業	175	78.9	40.6	8.0	5.1	10.3	0.6
	自営業 自由業	524	70.6	44.8	5.0	6.3	7.6	1.5
	正規職員	1,358	83.3	31.8	1.1	16.3	3.3	0.4
	パート・バイト 派遣	972	52.3	62.6	3.5	11.7	6.5	1.0
	その他の職業	205	69.8	42.4	5.9	15.1	3.9	2.0
	学生	68	7.4	1.5	1.5	92.6	2.9	-
	専業主婦・ 主夫	742	18.6	87.6	4.4	3.6	8.0	1.3
	無職	1,237	61.6	30.6	11.8	4.3	14.9	5.8
結婚	未婚	635	45.5	1.7	0.6	61.3	13.2	1.9
	既婚	3,932	62.0	59.9	4.7	3.0	5.6	1.4
	離婚・死別	509	72.1	3.7	13.6	6.1	16.9	4.5
世帯構成	単身世帯	414	75.1	6.0	1.0	5.3	12.3	6.5
	一世代世帯	1,473	63.3	56.3	1.3	0.9	8.4	2.9
	二世代世帯	2,376	57.4	48.7	5.9	13.5	5.9	1.4
	三世代世帯	731	56.1	49.5	11.8	20.4	6.0	0.7
	その他	305	57.0	34.8	11.1	15.1	19.0	4.3
本人の年間収入	100万円未満	1,509	26.5	69.7	7.8	9.3	9.5	3.3
	100～200万円未満	1,034	63.2	46.7	8.4	10.7	10.3	2.5
	200～300万円未満	803	76.6	34.5	3.9	13.8	7.0	1.2
	300～400万円未満	514	82.1	34.8	2.9	13.8	5.8	1.4
	400～500万円未満	376	86.2	33.5	0.5	13.0	3.5	1.3
	500～600万円未満	264	93.9	34.1	1.5	4.2	1.9	0.4
	600～800万円未満	319	94.0	27.3	0.6	6.3	3.4	-
	800～1,000万円未満	122	91.8	23.8	3.3	2.5	-	1.6
	1,000万円以上	80	95.0	17.5	1.3	1.3	1.3	2.5
	わからない	179	21.2	45.8	8.4	13.4	20.7	5.0

**問5 - 2** 日常生活の支出の中で、特に負担を感じている支出はありますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。（ は1つだけ）

**【特に負担を感じている支出の有無】**

日常生活の支出の中で特に負担を感じている支出があるか質問したところ、「ある」の割合が71.0%で、「ない」の割合（17.0%）より54.0ポイント高くなっています。

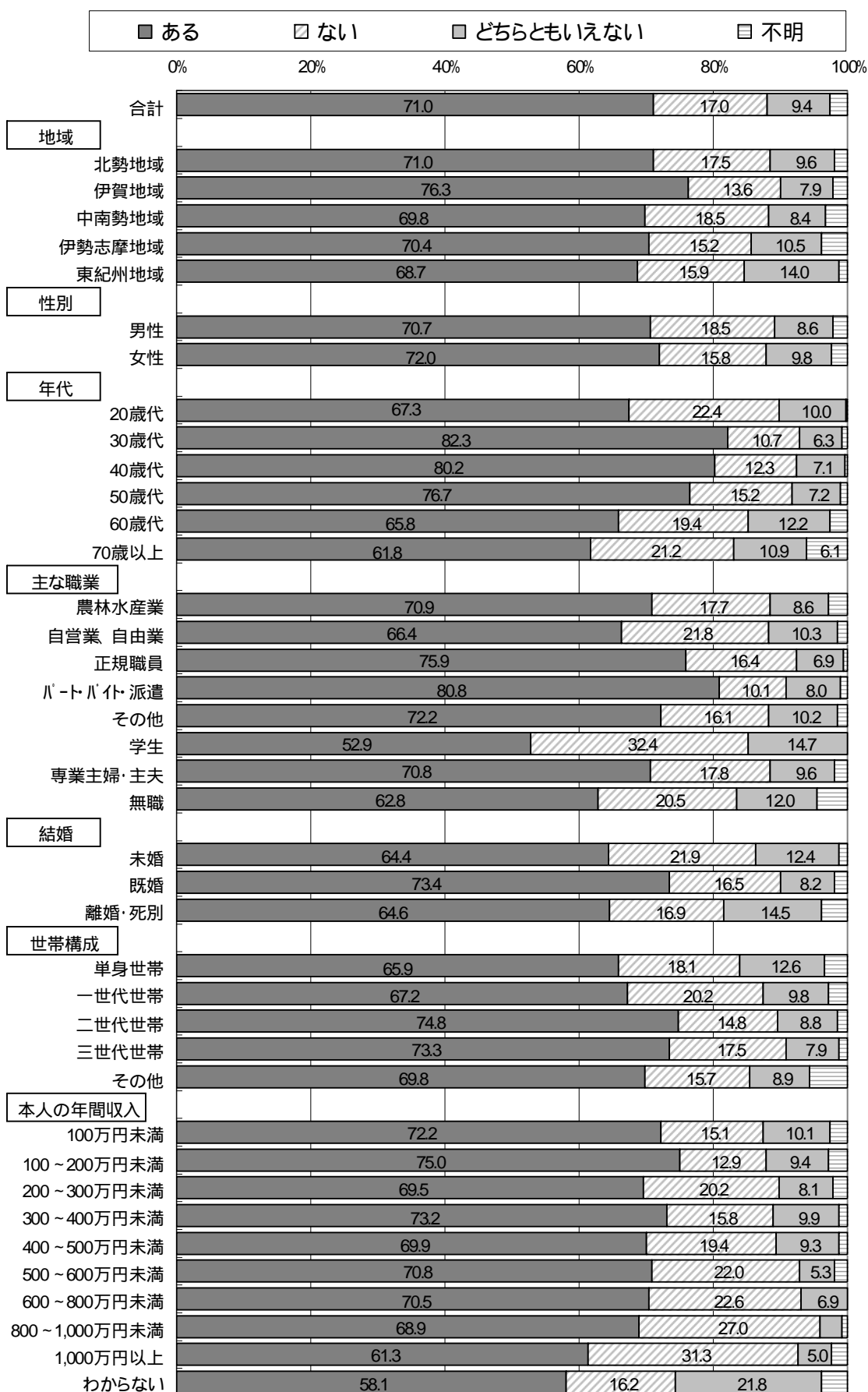
県全体との比較において特徴の見られる主な属性項目は次のとおりです。

- ・30歳代の「ある」の割合が82.3%で、県全体より11.3ポイント高くなっています。
- ・学生の「ある」の割合が52.9%で、県全体より18.1ポイント低くなっています。

属性項目間の比較において特徴がみられる属性については次のとおりです。

- ・年代別では、30歳代は「ある」の割合が82.3%と最も高くなっています。30歳代以上の年代でみると、年代が高くなるほど「ある」の割合が低く、70歳以上は61.8%と最も低くなっています。
- ・主な職業別では、パート・アルバイト・派遣社員は「ある」の割合が80.8%で、職業の中で最も高くなっています。一方、学生は「ある」の割合が52.9%と職業の中で最も低くなっています。
- ・本人の年間収入別では、800万円から1,000万円未満の層、1,000万円以上の層は「ない」の割合がそれぞれ27.0%、31.3%と他の本人の年間収入別の層に比べて高くなっています。

図表 2-5-3 特に負担を感じている支出の有無



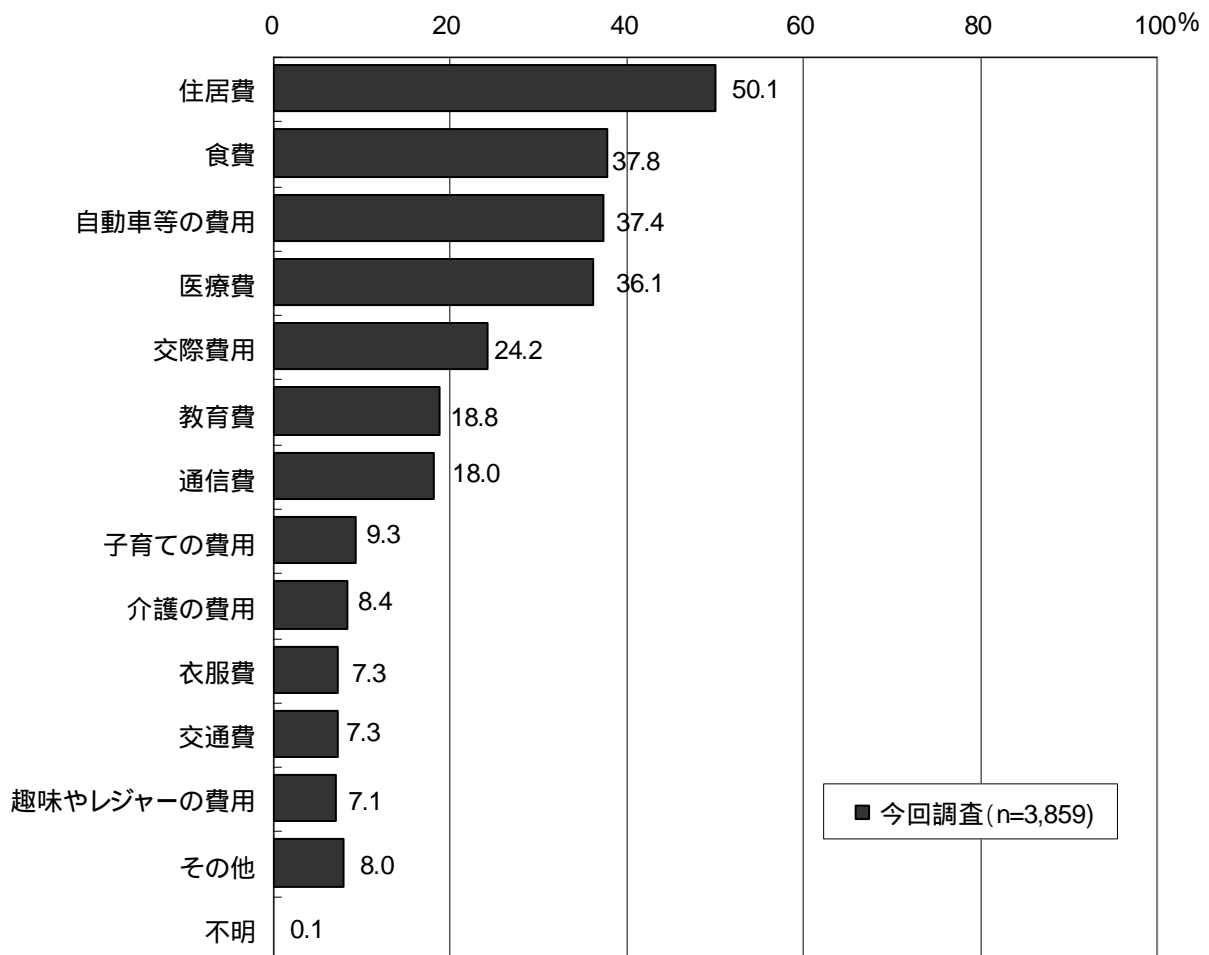
## 同5 - 2 続き

問5 - 2 特に負担を感じている支出の有無で「1 ある」に をつけた方におききします。  
特に負担を感じている支出についてあてはまるものすべてに をつけてください。( はいいくつでも )

### 【特に負担を感じている支出】

問5 - 2で特に負担を感じている支出が「1 ある」と回答した方に対して、特に負担を感じている支出の内容について質問したところ、「住居費」が50.1%と最も高く、次いで「食費」(37.8%)、「自動車やオートバイ等に関する費用」(37.4%)、「医療費」(36.1%)となっています。

図表2-5-4 特に負担を感じている支出(複数回答)



- ・地域別では、上位4項目は同じ項目となっています。5位は北勢地域だけが「教育費」(20.6%)となっています。

図表2-5-5 特に負担を感じている支出(複数回答)(地域別上位5項目)

地域	1位	2位	3位	4位	5位
北勢地域	住居費 52.5	自動車等の費用 36.8	食費 36.8	医療費 35.8	教育費 20.6
伊賀地域	住居費 50.8	自動車等の費用、 医療費 36.7		食費 34.8	交際費用 30.1
中南勢地域	住居費 47.6	食費 38.3	自動車等の費用 37.8	医療費 36.4	交際費用 26.4
伊勢志摩地域	住居費 47.6	食費 42.2	自動車等の費用 37.6	医療費 37.2	交際費用 31.9
東紀州地域	住居費 46.9	自動車等の費用 41.5	食費 39.5	医療費 31.3	交際費用 24.5

- ・性別では、男女とも「住居費」が最も高く、2位は男性が「自動車やオートバイ等に関する費用」、女性が「食費」となっています。

図表2-5-6 特に負担を感じている支出(複数回答)(性別上位5項目)

性別	1位	2位	3位	4位	5位
男性	住居費 48.0	自動車等の費用 38.6	医療費 37.4	食費 36.5	交際費用 21.0
女性	住居費 52.1	食費 38.8	自動車等の費用 36.1	医療費 34.8	交際費用 26.6

- ・年代別では、20歳代は「自動車やオートバイ等に関する費用」、30歳代から50歳代は「住居費」、60歳代以上は「医療費」が最も高くなっています。「子育ての費用」が30歳代で4位となっています。「教育費」が30歳代が5位、40歳代が2位、50歳代が5位となっています。

図表2-5-7 特に負担を感じている支出(複数回答)(年代別上位5項目)

年代	1位	2位	3位	4位	5位
20歳代	自動車等の費用 46.3	住居費 39.8	食費 34.7	通信費 25.5	交際費用 21.8
30歳代	住居費 69.3	自動車等の費用 43.2	食費 33.9	子育ての費用 29.9	教育費 25.7
40歳代	住居費 65.5	教育費 46.0	自動車等の費用 36.2	食費 33.9	通信費 24.1
50歳代	住居費 54.4	自動車等の費用 34.5	食費 34.4	医療費 30.5	教育費 24.6
60歳代	医療費 51.4	食費 40.8	住居費 40.4	自動車等の費用 38.6	交際費用 32.4
70歳以上	医療費 56.0	食費 44.6	交際費用 41.0	住居費、 自動車等の費用	32.5

- ・主な職業別では、農林水産業と無職は「医療費」が最も高く、それ以外の職業は「住居費」が最も高くなっています。農林水産業は「住居費」が5位と低い一方、「交際・つきあいの費用」(39.5%)が2位と他の職業に比べて高くなっています。

図表2-5-8 特に負担を感じている支出(複数回答)(主な職業別上位5項目)

主な職業	1位	2位	3位	4位	5位
農林水産業	医療費 46.0	交際費用 39.5	自動車等の費用 36.3	食費 31.5	住居費 28.2
自営業、自由業	住居費 48.6	食費 34.5	自動車等の費用 32.8	医療費 31.9	交際費用 21.8
正規職員	住居費 59.4	自動車等の費用 36.8	食費 31.5	教育費 26.3	医療費 22.9
パート・アルバイト・派遣	住居費 58.2	自動車等の費用 44.3	食費 39.2	医療費 30.7	教育費 25.4
その他の職業	住居費 48.0	自動車等の費用 43.2	食費 33.1	医療費 27.7	交際費用 24.3
専業主婦・主夫	住居費 53.1	食費 43.0	医療費 41.0	自動車等の費用 36.6	交際費用 29.3
無職	医療費 57.5	食費 44.3	住居費 34.5	交際費用 34.2	自動車等の費用 34.1

学生についてはサンプル数が50未満のため記載していません。

- ・結婚別では、既婚、離婚・死別は「住居費」、未婚は「自動車やオートバイ等に関する費用」が最も高くなっています。また未婚は「通信費」(27.9%)が5位となっています。

図表2-5-9 特に負担を感じている支出(複数回答)(結婚別上位5項目)

結婚	1位	2位	3位	4位	5位
未婚	自動車等の費用 46.0	住居費 37.9	食費 35.9	医療費 29.3	通信費 27.9
既婚	住居費 53.2	自動車等の費用 36.7	食費 36.7	医療費 36.0	交際費用 22.8
離婚・死別	住居費 48.3	食費 42.9	医療費 36.5	自動車等の費用 35.9	交際費用 31.9



- ・世帯構成別では、一世代世帯は「医療費」が最も高く、一世代世帯以外の世帯は「住居費」が最も高くなっています。

図表 2-5-10 特に負担を感じている支出(複数回答)(世帯構成別上位5項目)

世帯構成	1位	2位	3位	4位	5位
単身世帯	住居費 42.5	医療費 39.2	食費 37.7	自動車等の費用 32.6	交際費用 30.8
一世代世帯	医療費 49.1	住居費 42.7	自動車等の費用 37.6	食費 37.2	交際費用 32.3
二世帯世帯	住居費 55.9	自動車等の費用 37.6	食費 36.9	医療費 30.1	教育費 25.2
三世帯世帯	住居費 48.5	食費 39.9	自動車等の費用 37.3	教育費 30.6	医療費 28.7
その他	住居費 51.2	食費 42.3	自動車等の費用 40.4	医療費 38.5	交際費用 30.5

- ・本人の年間収入別では、500万円以上の層は「教育費」が他の層に比べて高く、500万円から600万円未満の層は3位、600万円から800万円未満、800万円から1,000万円未満の層はそれぞれ2位となっています。

図表 2-5-11 特に負担を感じている支出(複数回答)(本人の年間収入別上位5項目)

本人の年間収入	1位	2位	3位	4位	5位
100万円未満	住居費 51.0	食費 43.0	医療費 40.0	自動車等の費用 36.8	交際費用 27.0
100～200万円未満	住居費 48.3	自動車等の費用 40.8	食費 40.5	医療費 40.3	交際費用 29.4
200～300万円未満	住居費 43.9	医療費 38.9	食費 37.5	自動車等の費用 36.9	交際費用 28.1
300～400万円未満	住居費 51.3	自動車等の費用 41.8	食費 32.2	医療費 30.3	通信費 20.2
400～500万円未満	住居費 56.3	自動車等の費用 38.4	食費 29.7	医療費 28.9	通信費 22.4
500～600万円未満	住居費 53.5	自動車等の費用 33.2	教育費 31.0	食費 26.7	医療費 26.2
600～800万円未満	住居費 59.6	教育費 36.9	自動車等の費用 33.8	食費 31.1	医療費 21.8
800～1,000万円未満	住居費 57.1	教育費 36.9	食費 28.6	医療費 22.6	自動車等の費用 21.4

「1,000万円以上」の層についてはサンプル数が50未満のため記載していません。

**問5 - 3** あなたは何歳くらいまで働きたい(収入のある仕事をしたい)とお考えですか。( は1つだけ。「1」に をつけた方は、( )に年齢も書いてください。おおよその年齢でかまいません。)今働いていない方でも、いずれ働きたいとお考えの場合は、その希望をお答えください。

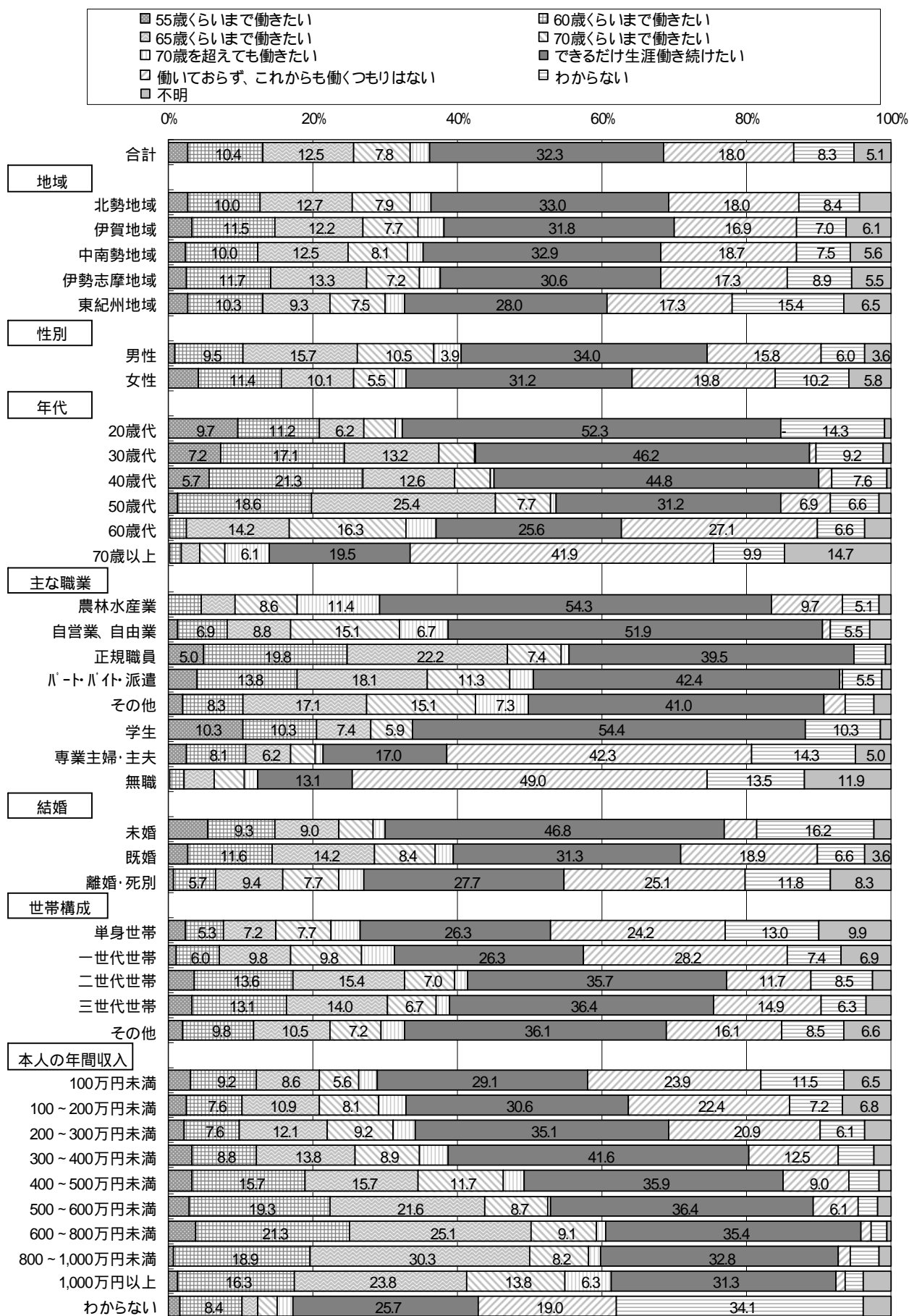
**【何歳まで働きたいか(就労意欲)】**

何歳くらいまで働きたいか質問したところ、「できるだけ生涯働きたい」が32.3%と最も高く、次いで「今、働いておらず、今後も働くつもりはない」(18.0%)、「65歳くらいまで働きたい」(12.5%)となっています。

属性項目間の比較において特徴がみられる属性については次のとおりです。

- ・年代別では、年代が若いほど「できるだけ生涯働きたい」が高く、20歳代は52.3%となっています。
- ・主な職業別では、農林水産業、自営業・自由業、学生は「できるだけ生涯働きたい」が他の職業より高くなっています。また、正規職員は、「60歳くらいまで働きたい」や「65歳くらいまで働きたい」の割合が他の職業に比べて高くなっています。
- ・結婚別では、未婚は「できるだけ生涯働きたい」(46.8%)が、既婚、離婚・死別に比べて15ポイント以上高くなっています。

図表 2-5-12 何歳まで働きたいか(就労意欲)



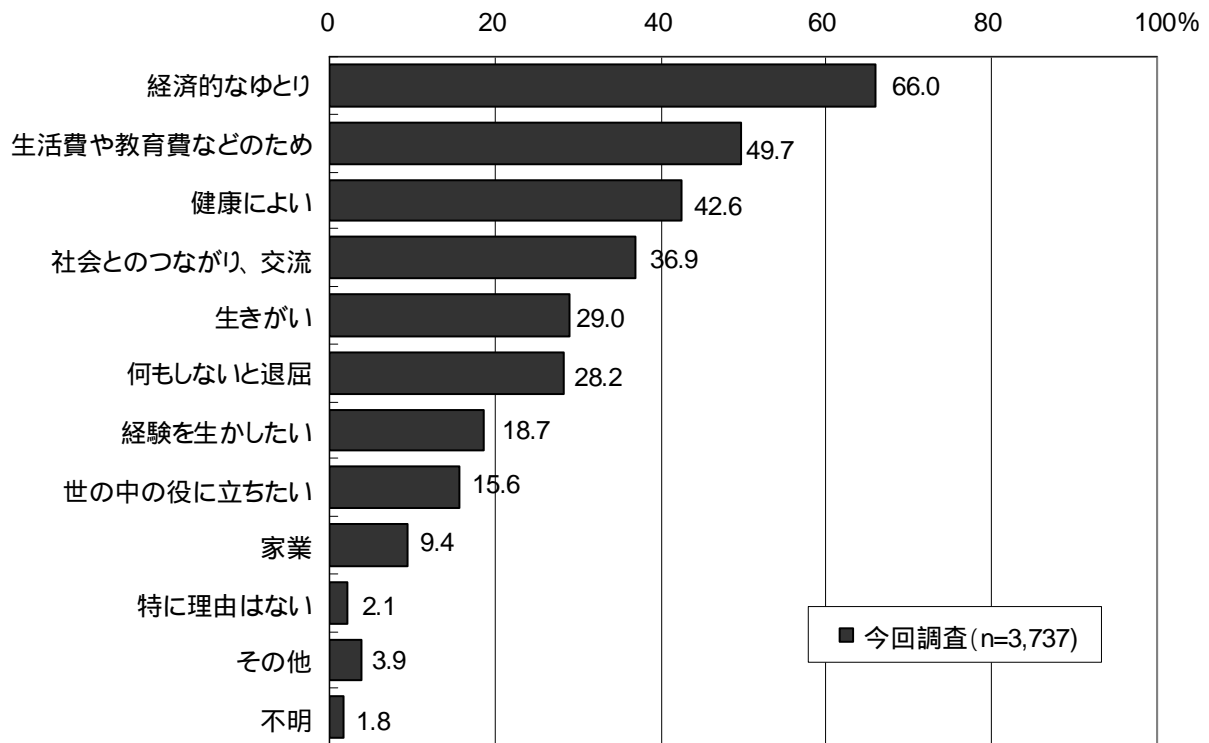
## 問5 - 3 続き

問5 - 3 何歳まで働きたいか(就労意欲)で、「1」または「2」に をつけた方におききします。そうお考えの理由は何ですか。 あてはまるものすべてに をつけてください。( はいくつでも)

### 【就労を希望する理由】

問5 - 3で「1 ( )歳くらいまで働きたい」または、「2 できるだけ生涯働きたい」と回答した方に対して、働きたい理由を質問したところ、「経済的なゆとりがほしい」が66.0%と最も高く、次いで「生活費や教育費などをまかなう必要がある」(49.7%)、「健康によい」(42.6%)、「社会とのつながり、交流がほしい」(36.9%)となっています。

図表2-5-13 就労を希望する理由(複数回答)



- ・地域別では、上位4項目まで、項目、順位ともに差はみられません。北勢地域、伊賀地域は5位が「何もしないと退屈だから」、中南勢地域、伊勢志摩地域、東紀州地域は「生きがい」となっています。

図表 2-5-14 就労を希望する理由(複数回答)(地域別上位5項目)

地域	1位	2位	3位	4位	5位
北勢地域	経済的なゆとり 66.3	生活費や教育費 などのため 49.6	健康によい 43.1	社会とのつながり、 交流 38.2	何もしないと退 屈 29.4
伊賀地域	経済的なゆとり 64.6	生活費や教育費 などのため 48.2	健康によい 41.5	社会とのつながり、 交流 35.6	何もしないと退 屈 26.9
中南勢地域	経済的なゆとり 66.8	生活費や教育費 などのため 48.1	健康によい 43.0	社会とのつながり、 交流 37.3	生きがい 30.2
伊勢志摩地域	経済的なゆとり 64.5	生活費や教育費 などのため 54.6	健康によい 42.1	社会とのつながり、 交流 35.1	生きがい 30.8
東紀州地域	経済的なゆとり 65.6	生活費や教育費 などのため 49.6	健康によい 38.2	社会とのつながり、 交流 26.7	生きがい 26.7

- ・性別では、男女ともに「経済的なゆとりがほしい」が最も高くなっていますが、女性は71.8%と男性(60.7%)より11.1ポイント高くなっています。女性の3位は「社会とのつながり、交流がほしい」(44.6%)となっており、男性より15.6ポイント高くなっています。

図表 2-5-15 就労を希望する理由(複数回答)(性別上位5項目)

性別	1位	2位	3位	4位	5位
男性	経済的なゆとり 60.7	生活費や教育費 などのため 50.6	健康によい 42.7	何もしないと退 屈 29.0	社会とのつながり、 交流 29.0
女性	経済的なゆとり 71.8	生活費や教育費 などのため 49.2	社会とのつながり、 交流 44.6	健康によい 42.1	生きがい 31.5

- ・年代別では、60歳代までは「経済的なゆとりがほしい」が最も高く、また50歳代までは「生活費や教育費などをまかなう必要がある」が2位となっています。

図表 2-5-16 就労を希望する理由(複数回答)(年代別上位5項目)

年代	1位	2位	3位	4位	5位
20歳代	経済的なゆとり 66.1	生活費や教育費 などのため 55.5	何もしないと退 屈 39.1	社会とのつながり、 交流 33.6	生きがい 30.3
30歳代	経済的なゆとり 73.7	生活費や教育費 などのため 65.2	社会とのつながり、 交流 37.9	何もしないと退 屈 32.5	健康によい 26.8
40歳代	経済的なゆとり 70.8	生活費や教育費 などのため 61.6	社会とのつながり、 交流 35.3	健康によい 32.3	生きがい 25.3
50歳代	経済的なゆとり 68.1	生活費や教育費 などのため 52.7	健康によい 41.1	社会とのつながり、 交流 40.5	生きがい 25.3
60歳代	経済的なゆとり 62.3	健康によい 60.2	社会とのつながり、 交流 38.1	生活費や教育費 などのため 35.9	生きがい 32.3
70歳以上	健康によい 66.0	経済的なゆとり 50.4	生きがい 39.0	社会とのつながり、 交流 30.5	何もしないと退 屈 28.4

- ・主な職業別では、農林水産業は「健康によい」、それ以外の職業は「経済的なゆとりがほしい」が最も高くなっています。農林水産業は「家業だから」が50.0%で2位、自営業・自由業でも45.7%で3位と他の職業に比べて高く、「生活費や教育などのため」がそれぞれ4位と低くなっています。また、学生は「世の中の役に立ちたい」(39.3%)が3位、専業主婦・主夫は「社会とのつながり、交流がほしい」(45.6%)が2位と他の職業に比べて高くなっています。

図表2-5-17 就労を希望する理由(複数回答)(主な職業別上位5項目)

主な職業	1位	2位	3位	4位	5位
農林水産業	健康によい 63.0	家業 50.0	経済的なゆとり 41.1	生活費や教育費などのため 32.9	生きがい 31.5
自営業 自由業	経済的なゆとり 53.5	健康によい 46.5	家業 45.7	生活費や教育費などのため 36.9	生きがい 33.5
正規職員	経済的なゆとり 69.3	生活費や教育費などのため 58.7	社会とのつながり、交流 34.0	健康によい 33.1	何もしないと退屈 29.8
パート・アルバイト・派遣	経済的なゆとり 72.6	生活費や教育費などのため 54.6	社会とのつながり、交流 46.2	健康によい 45.4	何もしないと退屈 30.2
その他の職業	経済的なゆとり 64.4	健康によい 51.6	生活費や教育費などのため 45.7	生きがい 38.3	社会とのつながり、交流 37.8
学生	経済的なゆとり 68.9	生活費や教育費などのため 47.5	世の中の役に立ちたい 39.3	生きがい 37.7	何もしないと退屈 36.1
専業主婦・主夫	経済的なゆとり 74.4	社会とのつながり、交流 45.6	生活費や教育費などのため 43.5	健康によい 40.4	生きがい 34.0
無職	経済的なゆとり 59.1	健康によい 57.5	生活費や教育費などのため 35.8	社会とのつながり、交流 34.9	生きがい 33.0

- ・結婚別では、未婚は「社会とのつながり、交流がほしい」が3位となっています。

図表2-5-18 就労を希望する理由(複数回答)(結婚別上位5項目)

結婚	1位	2位	3位	4位	5位
未婚	経済的なゆとり 65.3	生活費や教育費などのため 53.3	社会とのつながり、交流 34.3	何もしないと退屈 34.1	生きがい 28.6
既婚	経済的なゆとり 67.2	生活費や教育費などのため 49.4	健康によい 44.6	社会とのつながり、交流 37.9	生きがい 29.0
離婚・死別	経済的なゆとり 60.7	生活費や教育費などのため 57.9	健康によい 44.6	社会とのつながり、交流 35.4	生きがい 26.4

- ・世帯構成別では、すべての世帯で「経済的なゆとり」が最も高くなっていますが、2位は単身世帯と一世代世帯は「健康によい」、二世帯世帯と三世帯世帯は「生活費や教育費などをまかなう必要がある」となっています。

図表 2-5-19 就労意欲(複数回答)(世帯構成別上位5項目)

世帯構成	1位	2位	3位	4位	5位
単身世帯	経済的なゆとり 62.4	健康によい 47.5	生活費や教育費 などのため 44.8	社会とのつながり、 交流 37.6	生きがい 37.1
一世代世帯	経済的なゆとり 65.7	健康によい 52.5	生活費や教育費 などのため 36.5	社会とのつながり、 交流 35.9	生きがい 32.0
二世帯世帯	経済的なゆとり 67.8	生活費や教育費 などのため 54.7	健康によい 38.3	社会とのつながり、 交流 37.1	何もしないと退 屈 27.5
三世帯世帯	経済的なゆとり 64.8	生活費や教育費 などのため 56.0	社会とのつながり、 交流 38.4	健康によい 37.7	何もしないと退 屈 27.4
その他	経済的なゆとり 62.9	生活費や教育費 などのため 51.4	健康によい 45.7	生きがい 33.3	社会とのつながり、 交流 32.4

- ・本人の年間収入別では、1,000万円未満の層で見ると、上位4項目の順位に変化はありません。一方、1,000万円以上の層は、「社会とのつながり、交流がほしい」(47.3%)が2位、「生きがい」(36.5%)が3位となっています。

図表 2-5-20 就労意欲(複数回答)(本人の年間収入別上位5項目)

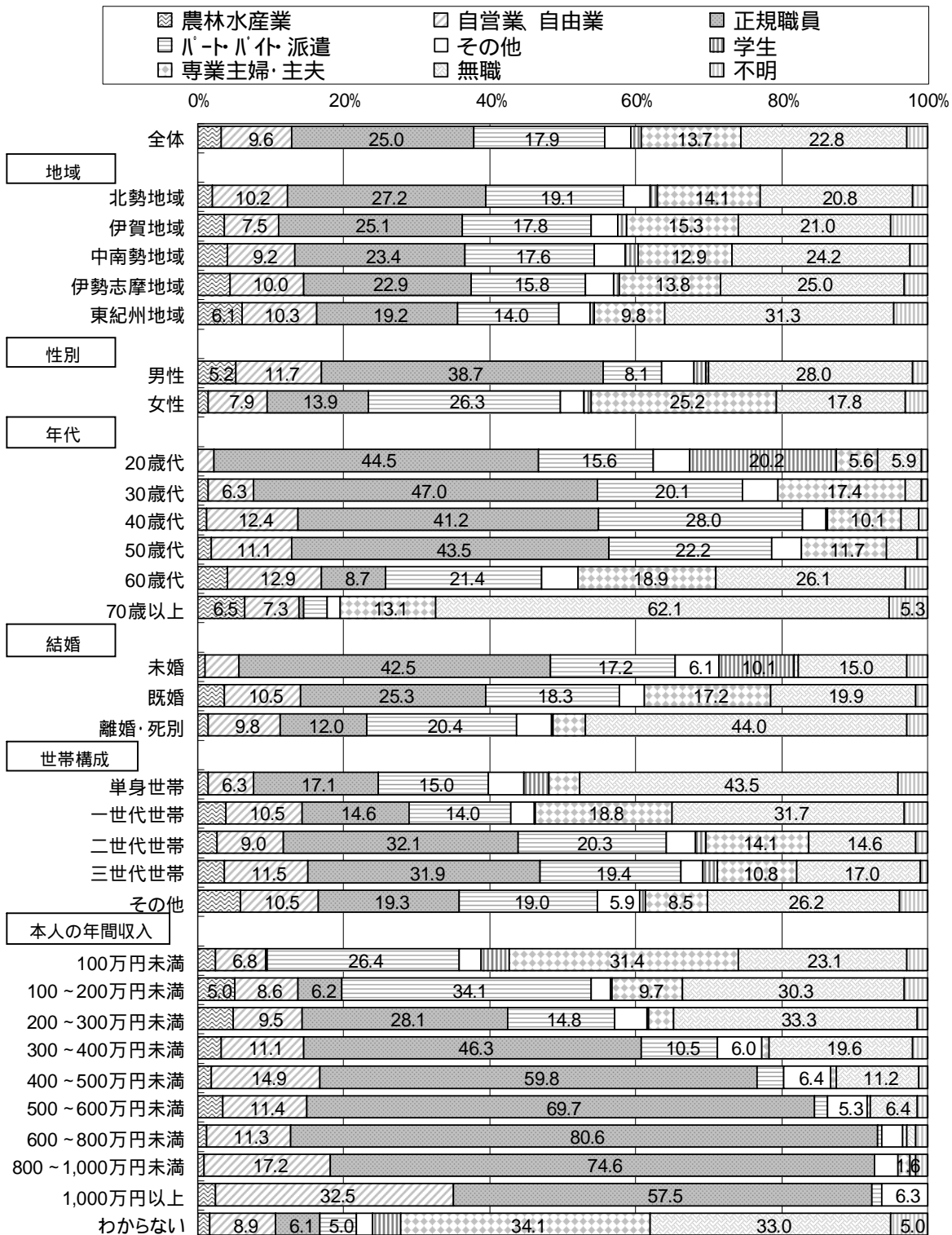
本人の年間収入	1位	2位	3位	4位	5位
100万円未満	経済的なゆとり 70.8	生活費や教育費 などのため 46.6	健康によい 46.1	社会とのつながり、 交流 41.4	生きがい 33.6
100~200万円未満	経済的なゆとり 66.1	生活費や教育費 などのため 51.1	健康によい 46.7	社会とのつながり、 交流 40.0	生きがい 30.5
200~300万円未満	経済的なゆとり 64.1	生活費や教育費 などのため 48.8	健康によい 45.4	社会とのつながり、 交流 38.2	何もしないと退 屈 31.1
300~400万円未満	経済的なゆとり 66.7	生活費や教育費 などのため 50.5	健康によい 41.3	社会とのつながり、 交流 32.9	何もしないと退 屈 28.3
400~500万円未満	経済的なゆとり 70.7	生活費や教育費 などのため 56.4	健康によい 34.0	社会とのつながり、 交流 33.3	何もしないと退 屈 31.2
500~600万円未満	経済的なゆとり 64.3	生活費や教育費 などのため 55.9	健康によい 37.0	社会とのつながり、 交流 30.3	何もしないと退 屈 26.1
600~800万円未満	経済的なゆとり 59.6	生活費や教育費 などのため 54.1	健康によい 36.8	社会とのつながり、 交流 30.6	何もしないと退 屈 30.0
800~1,000万円未満	経済的なゆとり 62.8	生活費や教育費 などのため 45.1	健康によい 38.9	社会とのつながり、 交流 31.9	何もしないと退 屈 25.7
1,000万円以上	経済的なゆとり 56.8	社会とのつながり、 交流 47.3	生きがい 36.5	健康によい 35.1	生活費や教育費 などのため 29.7
わからない	経済的なゆとり 62.3	生活費や教育費 などのため 54.5	健康によい 41.6	社会とのつながり、 交流 36.4	生きがい 31.2

**問5 - 4** あなたの主な職業は何ですか。( は1つだけ)

**【主な職業】**

主な職業については、「正規職員」が25.0%と最も高く、次いで「無職」(22.8%)、「パート・アルバイト・派遣社員」(17.9%)、「専業主婦・主夫」(13.7%)となっています。

図表2-5-21 主な職業



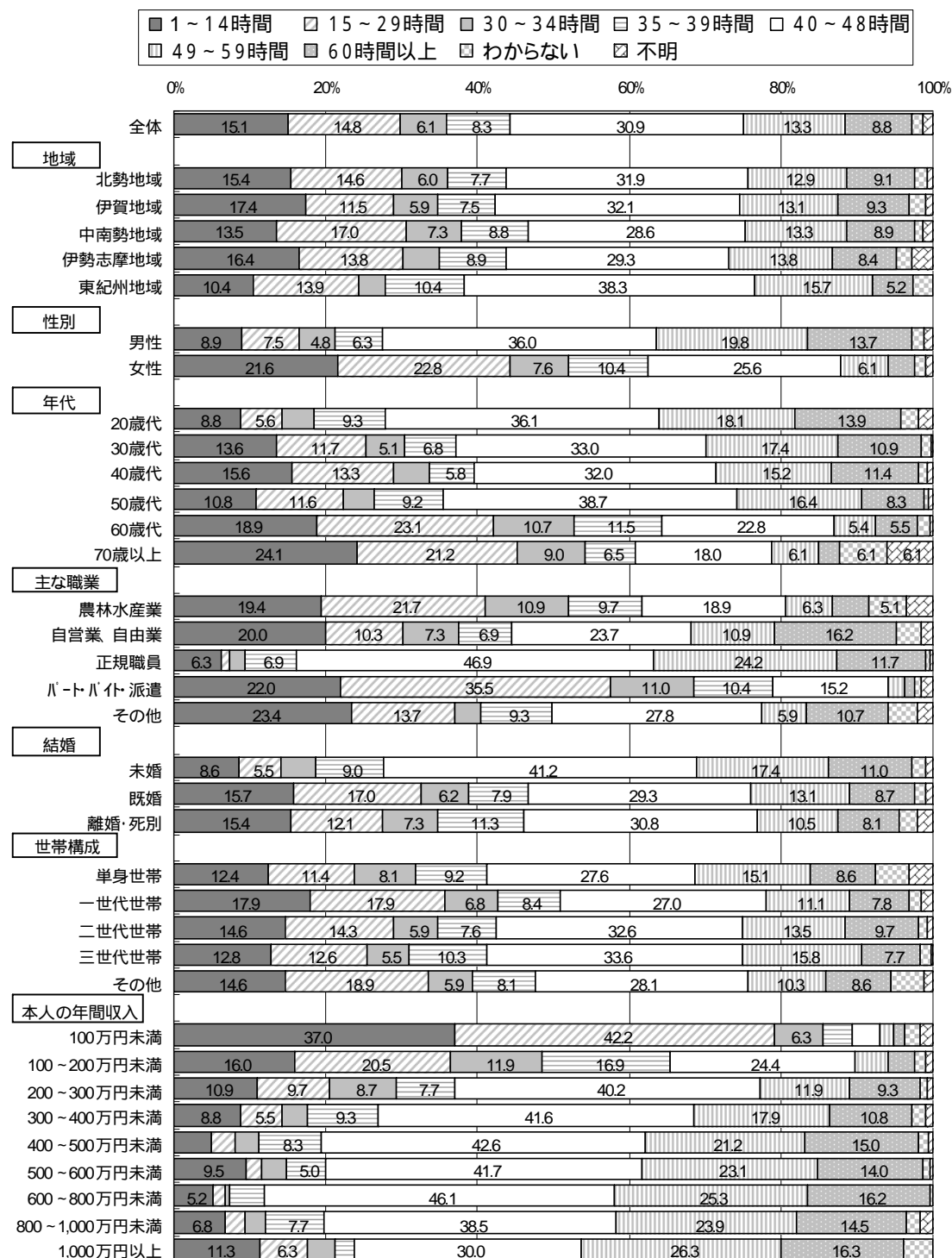


**問5-5** あなたの1週間の平均的な就業時間(残業時間を含みます)はどのくらいですか。もっとも近いものにをつけてください。( は1つだけ)

**【1週間の平均的な就業時間】**

1週間の平均的な就業時間はどのくらいか質問したところ、「40～48時間」が30.9%と最も高く、次いで「1～14時間」(15.1%)、「15～29時間」(14.8%)、「49～59時間」(13.3%)となっています。

図表2-5-22 一週間の平均的な就業時間



「本人の年間収入がわからない」の層についてはサンプル数が50未満のため記載していません。

問5 - 4で「4.パート・アルバイト・派遣社員など」を選択した方に対する質問

**問6** あなたは、今後、どのように働きたいと考えていますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。( は1つだけ)

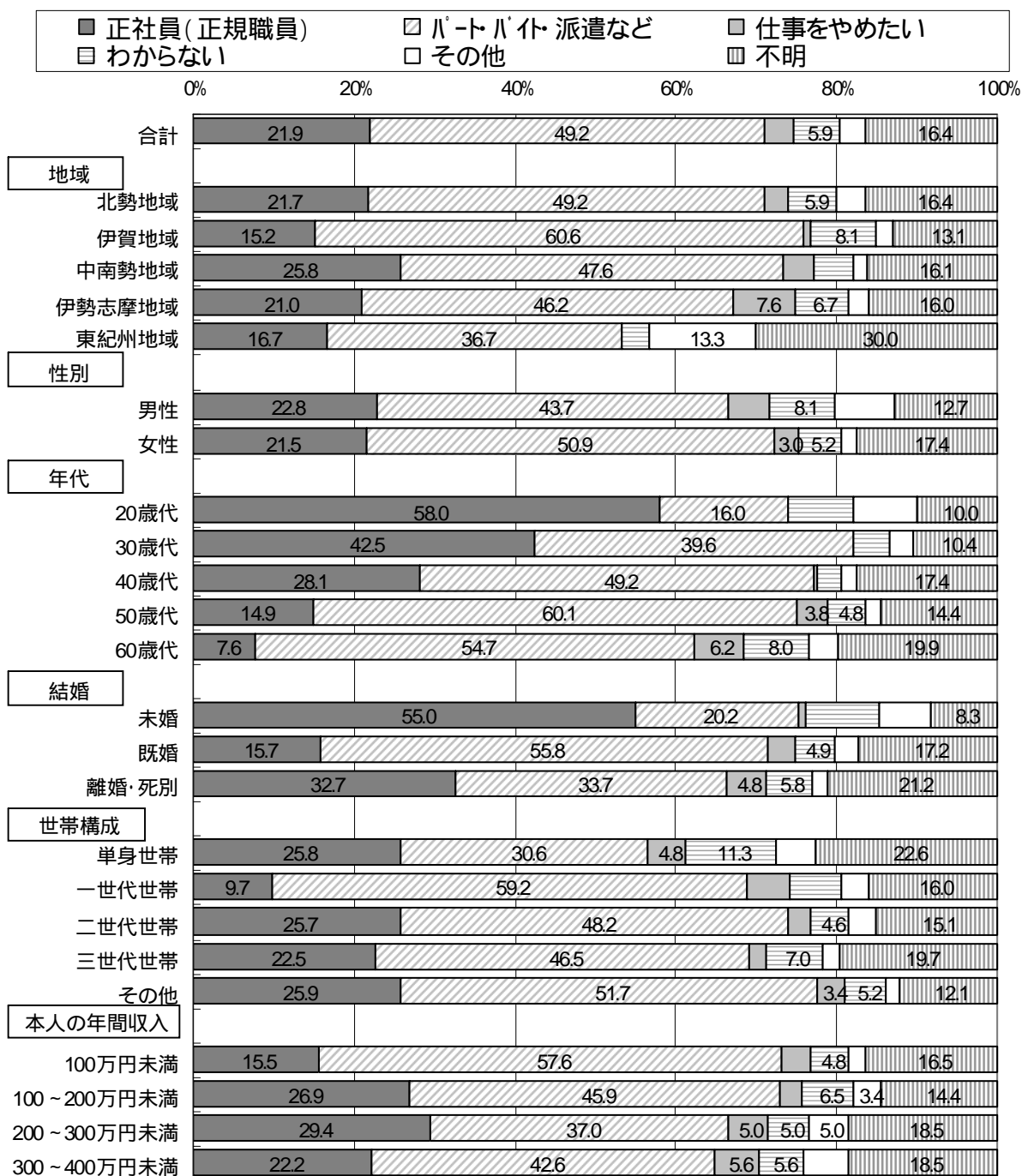
【パート・アルバイト・派遣社員の方が希望する働き方】

パート・アルバイト・派遣社員などの方に、今後、どのように働きたいか質問したところ、「パート・アルバイト・派遣社員などとして働きたい」(49.2%)が最も高く、次いで「正社員(正規職員)として働きたい」(21.9%)となっています。

属性項目間の比較において特徴がみられる属性については次のとおりです。

- ・地域別では、伊賀地域は「パート・アルバイト・派遣社員などとして働きたい」が60.6%で、他の地域より10ポイント以上高くなっている一方、「正社員(正規職員)として働きたい」が15.2%と地域の中で最も低くなっています。
- ・年代別では、年代が若いほど「正社員(正規職員)として働きたい」の割合が高く、20歳代は58.0%と年代の中で最も高くなっています。一方、50歳代は「パート・アルバイト・派遣社員などとして働きたい」が60.1%となっており、年代の中で最も高くなっています。
- ・結婚別では、未婚は、「正社員(正規職員)として働きたい」(55.0%)、既婚は「パート・アルバイト・派遣社員などとして働きたい」(55.8%)が最も高くなっています。離婚・死別は、「パート・アルバイト・派遣社員などとして働きたい」(33.7%)、「正社員(正規職員)として働きたい」(32.7%)がほぼ同率となっています。
- ・世帯構成別では、一世代世帯は「パート・アルバイト・派遣社員などとして働きたい」が59.2%と世帯構成の中で最も高くなっている一方、「正社員(正規職員)として働きたい」は9.7%と他の世帯構成に比べて10ポイント以上低くなっています。
- ・本人の年間収入別では、200万円から300万円未満の層は「正社員(正規職員)として働きたい」(29.4%)が本人の年間収入別の層の中で最も高く、「パート・アルバイト・派遣社員などとして働きたい」(37.0%)が最も低くなっています。

図表 2-5-23 パート・アルバイト・派遣社員の方が希望する働き方



東紀州地域のサンプル数は30です。

「70歳以上」、「本人の年間収入が400万円以上」の層についてはサンプル数が50未満のため記載していません。

問5 - 4で「4.パート・アルバイト・派遣社員など」を選択した方に対する質問

**問6 続き** 問6の今後の働き方で「1 正社員（正規職員）として働きたい」に をつけた方におききします。

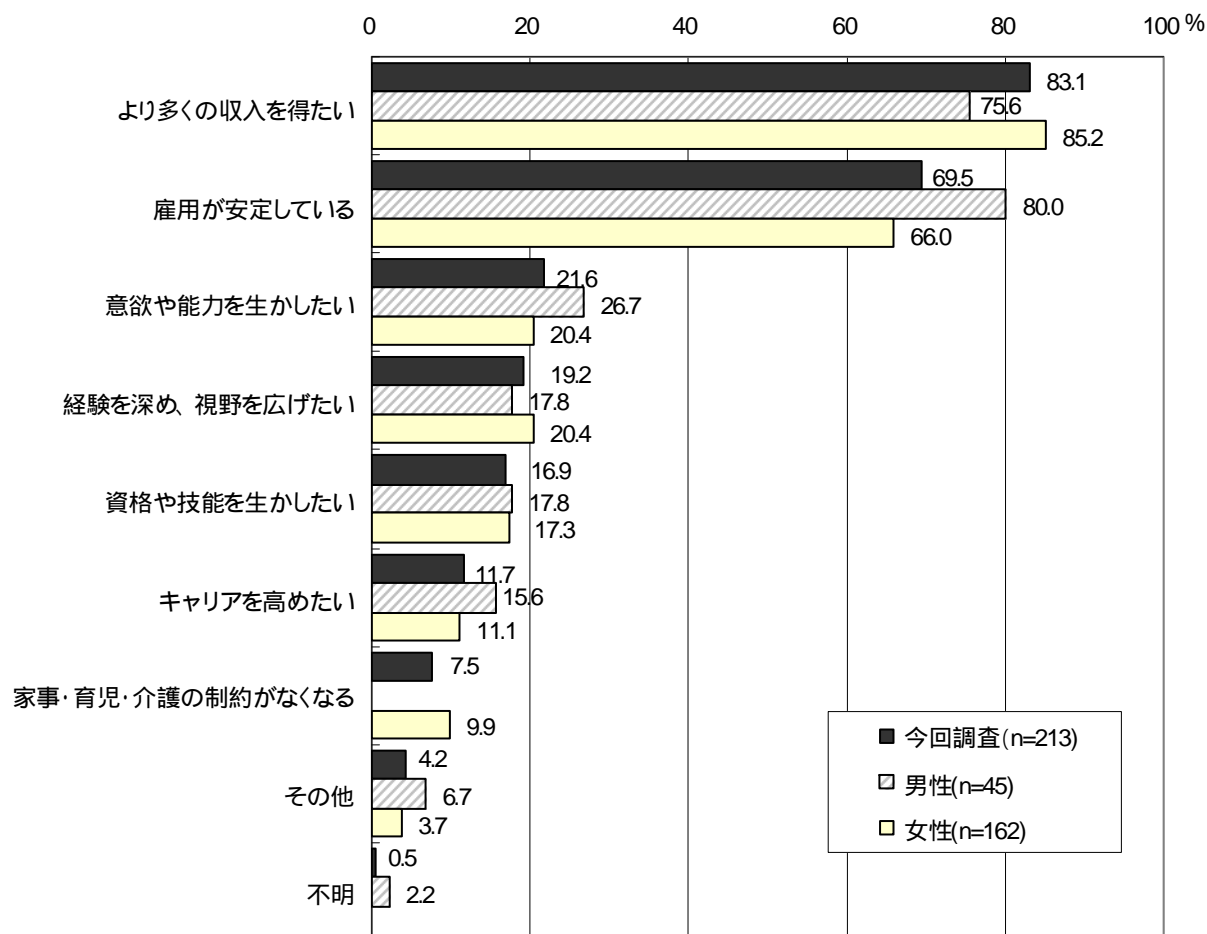
正社員（正規職員）として働きたいと考える理由は何ですか。 あてはまるものすべてに をつけてください。（ はいいくつでも）

【正社員として働きたい理由】

問6のパート、アルバイト、派遣社員などの方の今後、希望する働き方について、「1 正社員（正規職員）として働きたい」と回答した方に対して、正社員として働きたいと考える理由を質問したところ、「より多くの収入を得たい」が83.1%と最も高く、次いで「雇用が安定している」(69.5%)となっています。

属性別で見ると、男性は「雇用が安定している」(80.0%)が最も高く、次いで「より多くの収入を得たい」(75.6%)となっています。女性は「より多くの収入を得たい」(85.2%)が最も高く、次いで「雇用が安定している」(66.0%)となっています。「雇用が安定している」は男性が女性より14.0ポイント高くなっています。

図表2-5-24 正社員として働きたい理由(複数回答)



問5 - 4で「7.専業主婦・専業主夫」または「8.無職」を選択した方に対する質問

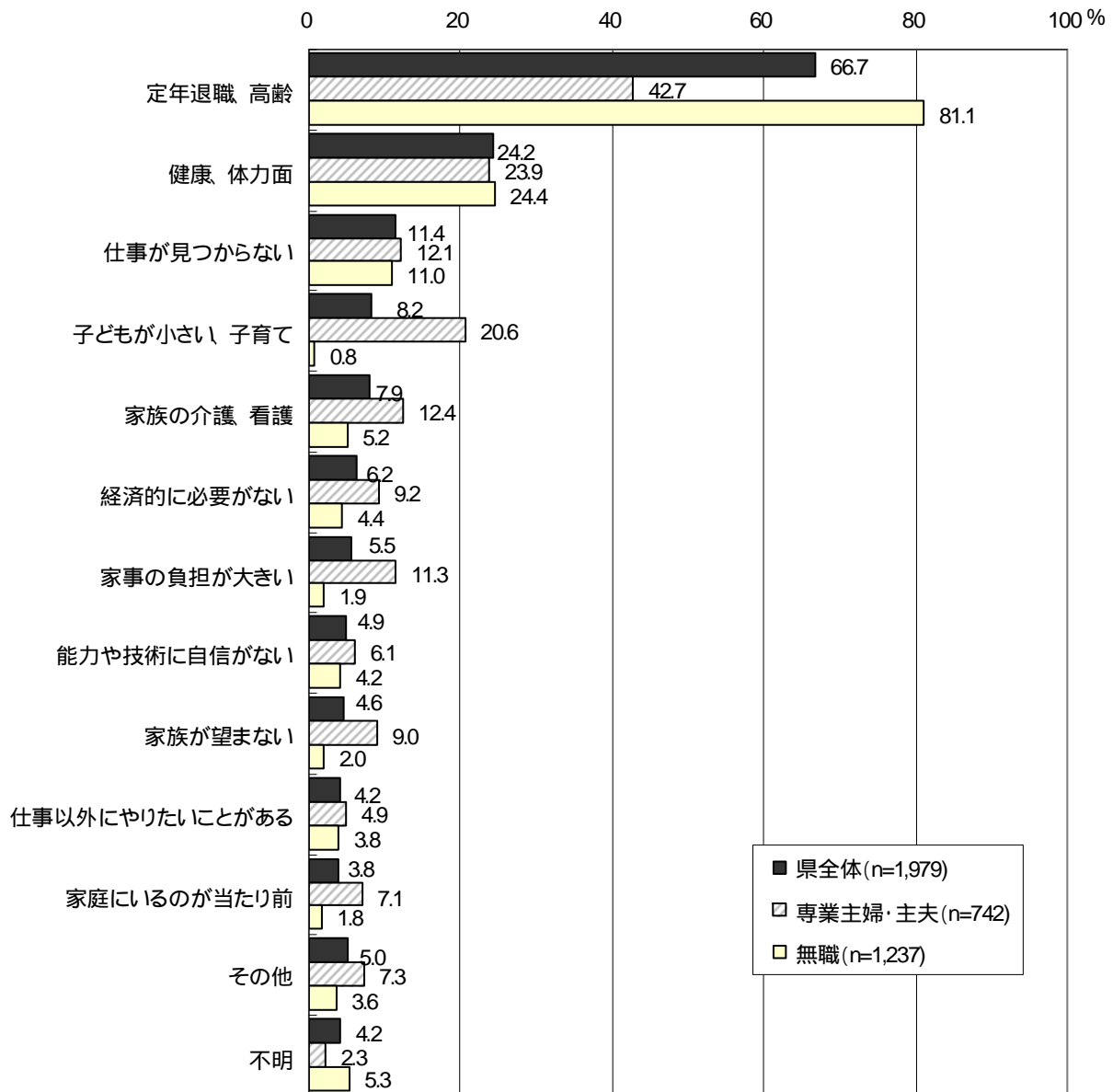
問7 - 1 働いていない(収入のある仕事をしていない)理由は何ですか。あてはまるものすべてにをつけてください。(はいくつでも)

【就労していない理由】

専業主婦・主夫、無職の方に、働いていない理由を質問したところ、「定年退職、高齢」が66.7%と最も高く、次いで「健康、体力面」(24.2%)となっています。

専業主婦・主夫、無職の職業別でみると、専業主婦・主夫、無職ともに「定年退職、高齢」が最も高くなっていますが、無職は81.1%と専業主婦・主夫(42.7%)より38.4ポイント高くなっています。一方、専業主婦・主夫は「子どもが小さい、子育て」(20.6%)が無職より19.8ポイント高くなっています。

図表2-5-25 働いていない(収入のある仕事をしていない)理由(複数回答)



問5 - 4で「7.専業主婦・専業主夫」または「8.無職」を選択した方に対する質問

問7 - 2 働きたい(収入のある仕事をしたい)と思っていますか。( は1つだけ)

【専業主婦・主夫や無職の方の就労意欲】

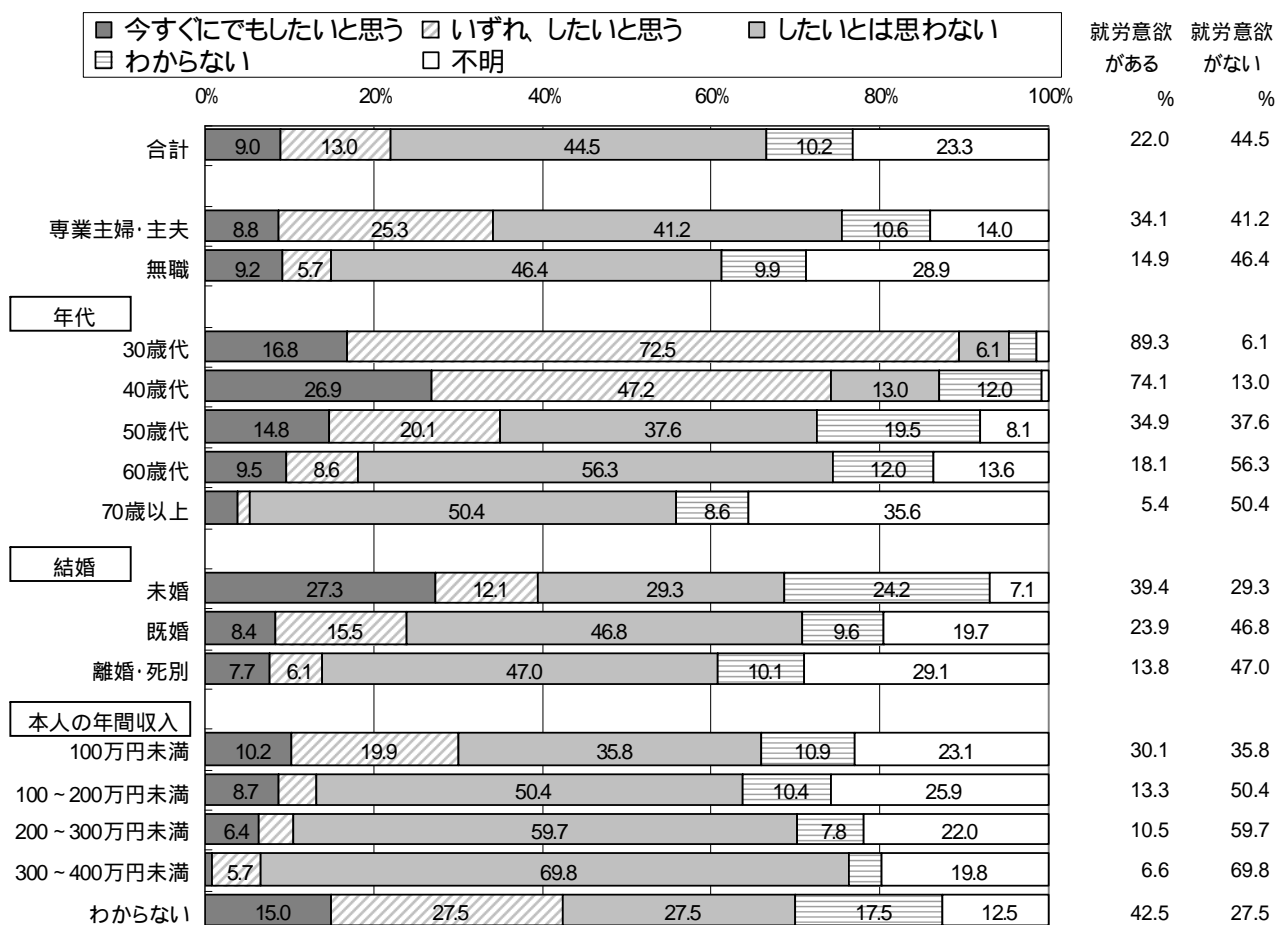
専業主婦・主夫、無職の方に、働きたい(収入のある仕事をしたい)と思っているかを質問したところ「したい(働きたい)とは思っていない」が44.5%となっており、「今すぐにでもしたい(働きたい)と思っている」と「いずれ、したい(働きたい)と思っている」の割合を合計した「就労意欲がある」割合(22.0%)より22.5ポイント高くなっています。

専業主婦・主夫の「いずれ、したい(働きたい)と思っている」が25.3%で、無職より19.6ポイント高くなっています。

属性項目間の比較において特徴がみられる属性については次のとおりです。

- ・年代別では、30歳代、40歳代は「就労意欲がある」割合がそれぞれ89.3%、74.1%で、「したい(働きたい)とは思っていない」より高くなっています。特に40歳代は「今すぐにでもしたいと思う」が26.9%と年代の中で最も高くなっています。
- ・結婚別では、未婚は「就労意欲がある」割合が39.4%、そのうち「今すぐにでもしたいと思っている」が27.3%となっています。
- ・本人の年間収入別では、400万円未満の層で見ると、本人の年間収入額が高くなるほど「したいとは思っていない」の割合が高く、300万円から400万円未満の層は69.8%となっています。一方、100万円未満の層は、「就労意欲がある」割合が30.1%で、他の層より10ポイント以上高くなっています。

図表 2-5-26 専業主婦・主夫や無職の方の就労意欲



「就労意欲がある」の割合・・・「今すぐにでもしたいと思っている」「いずれ、したいと思っている」の割合を小数点第2位で四捨五入した数値の合計

「就労意欲がない」の割合・・・選択肢の「したいとは思っていない」の数値を記載

問5 - 4で「7.専業主婦・専業主夫」または「8.無職」を選択した方に対する質問

**問7 - 2 続き** 問7 - 2の就労意欲で「1 今すぐにでもしたいと思っている」または「2 いずれ、したいと思っている」に つけた方におききします。

どのように働きたいと考えていますか。次の中からあてはまるものすべてに をつけてください。  
( はいくつでも )

【専業主婦・主夫や無職の方が希望する働き方】

専業主婦・主夫や無職の方の就労意欲について、「1 今すぐにでもしたいと思っている」または「2 いずれ、したいと思っている」と回答した人にどのように働きたいと考えているか質問したところ、「パート・アルバイト・派遣社員など」が74.6%と最も高く、次いで「企業、役所、団体などの正規職員」(15.6%)、「自営業、自由業」(11.2%)となっています。

専業主婦・主夫、無職の職業別でみると、専業主婦・主夫、無職ともに「パート・アルバイト・派遣社員など」が最も高くなっていますが、専業主婦・主夫は84.2%となっているのに対し、無職は61.4%となっており、「企業、役所、団体などの正規職員」(19.6%)、「自営業、自由業」(14.7%)等の割合が専業主婦・主夫より高くなっています。

属性項目間の比較において特徴がみられる属性については次のとおりです。

- ・年代別では、30歳代以上のすべての年代でみると、年代が低くなるほど「企業、役所、団体などの正規職員」の割合が高くなっており、30歳代(25.6%)が最も高くなっています。70歳以上は「自営業、自由業」「農林水産業」の割合が他の年代より高くなっています。

図表2-5-27 専業主婦・主夫や無職の方の希望する働き方

